

チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	
	② 職員の配置数は適切であるか	6	0	○現在のスタッフ数でできる範囲での支援を行っている状態です。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6	0	○全ての部屋が段差のないバリアフリーとなっています。 「この部屋で何をするのか」という目的を明確に示し、お子様や保護者の方々が安心して過ごせる環境設定に努めます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	○お子様や保護者の方が安心して心地よく過ごせるよう、安全で清潔な環境設定に努めています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	○平成30年度より実施し、保護者の方からのご意見や改善策をホームページに公表しております。今後も毎年実施をし、結果やご意見、それを踏まえた取り組みや改善策等を公表いたします。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	○平成30年度より実施しております。今後も毎年実施し、保護者の方からのご意見を踏まえ、お子様方や保護者の方々により質の高いサービスを提供できるよう努めてまいります。 結果につきましては、法人のホームページにて公表いたします。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	(未記入：1) ○令和元年11月に第三者評価を受けましたので、結果を踏まえ業務改善に努めております。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	・スタッフ向けのティーチャー・トレーニングを実施 ○こども医療福祉センターでの研修や、随所で行われる研修に参加し、復命書の作成と伝達研修などを行っています。昨年度からは、ホープ内でもティーチャー・トレーニングを実施し、スキルアップに努めております。

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	○年度初めにアセスメントを取っている。また、モニタリングの説明時に、聞き取りをし、保護者の方やお子様のニーズに沿った計画を作成しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	○個別の支援計画書に具体的な目標、取り組み内容等とあわせてガイドラインの項目を記載しております。ガイドラインについては保護者の方がいつでもご覧になれるよう、待合室にファイルを設置しています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	○療育終了後の振り返りにてお子様の様子や次回に向けての課題をスタッフ間で共有し、次の活動の計画に反映しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	○お子様のその時の状態にもよりますが、同じ内容でもレベルを上げたり、活動の中で役割を持たせたり、関わる視点を変える工夫をしています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	○療育前には必ずスタッフ間で打ち合わせをし、活動毎のねらいや関わり等を確認、共有しています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	○療育終了後にはスタッフ間で振り返りを行い、情報の共有と次回の活動内容の改善や変更などの確認を行っています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	○毎回の支援は全てケース記録に残し、スタッフ間で回覧し、情報の共有に努めています。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	○事業所内や相談支援事業所とのモニタリングなど定期的に行い、見直しの判断に役立てています。モニタリングは年2回実施し、保護者の方の意向等を確認しています。	
関係者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	○現場の状況を知っている児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に参加しています。

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②② 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	○年に2回、東彼三町の保健師さんとカンファレンスを行っています。それ以外でも、必要に応じて情報共有を行っております。
	②③ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・支援していない ・対象者なし  ○医療的ケアが必要なお子様を受け入れる体制や設備が整っていない為、現在対象となるお子様はいらっしゃいません。
	②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・支援していない ・対象者なし  ○医療的ケアが必要なお子様を受け入れる体制や設備が整っていない為、現在対象となるお子様はいらっしゃいません。
	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼児部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	(未記入：1) ・全員が就園している  ○年長児は進学される小学校へ情報提供をする為に、まず園へ訪問し、お子様の様子の確認や担任の先生と情報交換等を行っております。実施する際はまず保護者の方へご相談させていただいております。
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	・年度末、年度はじめに情報提供している  ○就学をされる際、お子様の療育の経過や様子、配慮点等を情報提供書としてまとめ、ホープスタッフが小学校へ出向いて情報共有を行っています。情報提供書は事前に保護者の方に確認をさせていただきます。
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	・県内の児童発達支援センター等連絡会や、郡内の事業所連絡会へ参加している  ○県立こども医療福祉センターでの実習や技術支援を実施し、スタッフのスキルアップに努めています。また各研修会等にも参加をしております。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	(未記入：2) ・全員就園している ・児発での交流は行っていない  ○親子通園で決められた時間の中での療育を行っておりますので、現在は実施しておりません。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	(未記入: 1) ○自立支援協議会子ども部会や川棚町や東彼杵町の特別支援教育コーディネータ会議等へ参加しています。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	○療育終了後の振り返りの際や、個別支援計画、モニタリング等の面談を行う際に保護者の方とお子様の様子についてお話をしています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	0	・今年度はコロナ禍のため実施できていない ○平成28年度より毎年実施しております(昨年度はコロナ禍で中止)。
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	○年に2回個別支援計画の説明と評価(モニタリング)の為に面談を実施し、支援内容の具体的な取り組みをご説明したり、評価については保護者の方との差し合わせをしながら意向をお尋ねしています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			・コロナの影響で中止 ・コロナ感染予防の為、交流会が実施できなかった ○令和元年度より実施しておりますが、昨年から今年度もコロナ禍の為やむを得ず中止となりました。今後感染状況をみながら開催に向けて準備を進めてまいります。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	○苦情受付担当者や苦情解決担当者などの体制を整備し、迅速に対応できるようにしています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	○法人全体の広報誌を今年度は3回作成しております。今後はホームページ等での発信にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	
③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0		

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	(未記入：3) ・コロナの影響で中止 ・コロナの影響で行事はできなかったが、オンラインでセミナーを実施した ・児発では行っていない  ○昨年度に引き続きコロナ禍の為、外部を招待しての行事は中止となりましたが、11月にオンラインで「あすなるセミナー」を開催しました。今後も感染状況を見ながら、企画、実施へ向けて準備を進めてまいります。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	○各マニュアル等を保護者の方がいつでもご覧いただけるよう、待合室にファイルを設置しておりますのでご覧ください。 また、個別支援計画書の説明時等に再度保護者の方へご説明もさせていただきます。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	○現在、毎月第三水曜日の16時10分より火災時の避難訓練を実施しており、年2回通報訓練も実施しています。また防犯訓練や自然災害を想定した訓練も定期的の実施しております。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	○契約時の聞き取りや毎年年度はじめに実施するアセスメント等でお子様の様子等を把握するとともに、必要に応じて保護者の方と状況等の確認をさせていただきます。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	(未記入：3) ・当てはまる子がいない ・食事提供していない ・アレルギー等がある場合は、アセスメントの段階で保護者より情報を得るようにしている  ○現在ホープは親子通園型での療育を実施しておりますので、食事の提供はしておりません。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	○ヒヤリハットの事例が起こった際はすぐに検証、要因、改善策をスタッフ間で検討、共有しております。今後は紙面にも残し、事例集を作成していきます。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	・契約時、計画の説明時に行っている  ○個別支援計画書の「総合的な支援方針」の中に記載し、保護者の方へご説明させていただいております。